



↑シンプルで質感高いAE201のディテールが走りのM4にジャストフィット。フロントリップはテックMのオリジナル

↓フロントが20インチで、リアが21インチ。フロントは純正オプションより1インチアップ。ブレーキシステムがキレイに収まる

SPEC
GNOSIS AE201
F:10J×20インチ +20
R:11J×21インチ +12
COLOR:マットグレーブラッシュド/ブラッシュドリム
OPTION K-SET:ブラックピアスポルト/ブラックエアバルブ
タイヤ
MICHELLIN PILOT SPORT4S
F:285/30 R:295/25



↑個性的なV字スポークは、しなやかなラインでホイールのサイズ感をアピール。近づいて見ると、スポークのサイドは肉抜きのシェイプされている。リム端の下側をシェイプしてスピード感あるアクセントとしているさらに、ピアスポルトの数をやや少なめにしているのも、シンプルに見せるための効果的なディテールアップだ

WORK GNOSIS AE201

×TECH M BMW M4

シンプルルックで走り語る
ハイパフォーマンスV字スポーク

BMW最新の走り象徴するM4の縦長キドニークリルは、スタイルアップの大きなモチーフでもある。縦方向にサイズアップしたフロントマスクには“GNOSIS (グノーシス) AE201”のように機能的で大きいデザインのホイールがお似合いだ。

問●ワーク 西日本 TEL.06・6746・2859 中日本 TEL.052・777・4512 東日本 TEL.048・688・7555 www.work-wheels.co.jp

撮影協力●テックM TEL.072・361・1088 http://www.tech-m-power.com

写真●芝修 文●永田トモオ



ルで力強いディテールとしっかりマッチするわけだ。
スポーツカーのホイールは、ただ大きく見ればイイというものではない。そのホイールの高性能を感じさせる何かが、しっかりデザインに結ばれてこそ、M4のようなクルマにマッチさせる意味があると思う。装着ホイールはフロントが20インチで、リアが21インチ。純正よりも明らかに軽快さとタフさがアップしているのが分かるはずだ。

大きなデザインが魅力的。
スタイルアップのセオリーでいえば、スポークがもっと長ければ、それだけサイズ感は増していく。しかし、大きなホイールデザインの要素は足の長さだけではない。AE201の場合は、V字スポークを採用することで、スポークの伸びやかさとデザインの力強さを両立させる。さらに、通常より間引かれた少なめのピアスポルトや、スクエアなディープリムといった、見るからにシンプルなデザイン要素が、M4のシンプ

ルで力強いディテールとしっかりマッチするわけだ。
スポーツカーのホイールは、ただ大きく見ればイイというものではない。そのホイールの高性能を感じさせる何かが、しっかりデザインに結ばれてこそ、M4のようなクルマにマッチさせる意味があると思う。装着ホイールはフロントが20インチで、リアが21インチ。純正よりも明らかに軽快さとタフさがアップしているのが分かるはずだ。

顔が大きく見れば、その分小さく見えてしまうのがホイールだ。そこでホイールのデザイン要素として必要になるのが、顔の大きさに負けない大きなホイールデザインだ。
ワークの最新2ピース、GNOSIS AE201は、V字スポークをシンプルなディテールで見せる、大きなデザインが魅力的。
スタイルアップのセオリーでいえば、スポークがもっと長ければ、それだけサイズ感は増していく。しかし、大きなホイールデザインの要素は足の長さだけではない。AE201の場合は、V字スポークを採用することで、スポークの伸びやかさとデザインの力強さを両立させる。さらに、通常より間引かれた少なめのピアスポルトや、スクエアなディープリムといった、見るからにシンプルなデザイン要素が、M4のシンプ

M4の個性的なマスクに負けない2ピースならではの大きなデザイン

BMW・M4のように、ハイパワーかつ優れたハンドリングのモデルのホイールに必要なものは、まずは純正ホイール以上にタフなパフォーマンスだ。そして、ルックスの面で必要なものは、あの個性的なフロントマスクに負けないような、デザインの大きさだろう。

G82型M4とG80型M3のフロントマスクは、近年のBMWになかったとびきりの個性派。縦に引き延ばされたキドニークリルは、フロントバンパー下まで達して、フェンダーサイドに回り込んだ切れ長ヘッドライトとの相乗効果で、顔をとても大きく見せている。
顔が大きく見れば、その分小さく見えてしまうのがホイールだ。そこでホイールのデザイン要素として必要になるのが、顔の大きさに負けない大きなホイールデザインだ。
ワークの最新2ピース、GNOSIS AE201は、V字スポークをシンプルなディテールで見せる、大きなデザインが魅力的。
スタイルアップのセオリーでいえば、スポークがもっと長ければ、それだけサイズ感は増していく。しかし、大きなホイールデザインの要素は足の長さだけではない。AE201の場合は、V字スポークを採用することで、スポークの伸びやかさとデザインの力強さを両立させる。さらに、通常より間引かれた少なめのピアスポルトや、スクエアなディープリムといった、見るからにシンプルなデザイン要素が、M4のシンプ

SUVクーペの典型、走りに定評のBMW・X6に合わせたホイールは、ワークの2ピースモデル、GNOSIS CVX。

CVXのディスクデザインは、5交点メッシュを一本おきに枝分かれさせたような変則パターンで……と説明してみると、なかなかトリッキーなスポークラインだ。しかし、装着してみると実にスタイリッシュにキマる。デザインのポイントは、エッジの立ったスポークラインのデザインで、ディスクのコンケーブとスクエアなスポークの組み合わせが、ホイールのルックスを力強いものになっているのだ。ホイールのカラーリングも絶妙で、マットブラックのフィニッシュで、大きな21インチを必要以上に大きく見せないところが上手い。

そして、力のあるメッシュデザインは、M2クーペに装着された、GNOSIS FMB03にも共通するところ。コチラは鍛造の1ピースで、今やレアなM2のようなコンパクトスポーククーペには、まったくふさわしい組み合わせだ。

CVXと共通したイメージのスクエアな7交点メッシュは、伝統的なノッチバックのクーペボディに、文句なしにマッチする。ただし、CVXと異なるのは、軽量化を意識したスポークラインのディテールアップだ。スポークのサイドに入った肉抜きや、立ち上がり部の無駄のない処理など、軽量化をデザインに結びつけたていねいな仕事に光る。結果として、スポークがCVXよりもシャープに見える。FMB03は、間違いなく走りのホイールなのだ。

↓鍛造1ピースの“GNOSIS FMB03”は、面で見せる力強い7交点メッシュ。スポーク両サイドに肉抜きが施され、より軽さを意識した仕上りをみせている



↑M2のような伝統的なノッチバッククーペに、メッシュホイールはムカシから定番。FMB03はムカシなかったモダンな5交点パターンだが、フィットぶりは見事。そのメッシュから覗く、大きなディスクローターと青いキャリパーはTECH-Mオリジナルメニュー。19インチ以上のホイールに対応ということで、キツキツに収まっているのがカッコイイ

SPEC GNOSIS FMB03
F:9.5J×19インチ +25
R:10.5J×19インチ +35
COLOR:チタンゴールド
タイヤ
YOKOHAMA ADVAN NEOVA AD08R
F:255/35 R:265/35

GNOSIS FMB03 × BMW M2



走りに合わせたディテールでメッシュをモダンに再構築

SUVの4枚ドアでありながら、キャビン小さくリアウインドを大きく傾斜させたクーペスタイルは、いまやSUVデザインの最新トレンドだ。クーペボディは、スペースユティリティの面ではデメリットといえるが、ルックスや走りの面ではメリットが大きい。だから、スタイルアップの面でも大きく楽しみが広がるというわけだ。

↑スポークラインも伸びやかな“GNOSIS CVX” 21インチ。もともとサイズがあるので、マットブラックのフィニッシュで必要以上のサイズ感を抑えている



↑CVXは5交点メッシュをベースにした変則パターン。スクエアなスポークラインがコンケーブディスクと組み合わせ、独特の立体感でメッシュを見せる。メッシュの間に覗くブレーキもグッドバランス。ホイールは21インチもあるのだが、それをストリートカーのように履きこなしてあげるあたりに、X6の優れたデザインを感じる

SPEC_GNOSIS CVX
F:11J×21インチ +20
R:12.5J×22インチ +38
COLOR:マットブラック/ブラックアルマイトリム
タイヤ
MICHELLIN PILOT SPORT4S
F:295/35 R:315/30

GNOSIS CVX × BMW X6



WORK GNOSIS CVX & FMB03

×TECH M BMW X6 & M2

カーデザインの伝統を受け継ぐクーペとメッシュホイールの関係

スポーツカー好きなら憧れるロングノーズ&ショートデッキのクーペボディは、伝統的なスタイルアップほど映えるもの。だからホイールデザインも、トラディショナルなメッシュに骨太なディテールがベストマッチだ。

問●ワーク 西日本 TEL.06・6746・2859 中日本 TEL.052・777・4512
東日本 TEL.048・688・7555 www.work-wheels.co.jp
撮影協力●テックM TEL.072・361・1088 http://www.tech-m-power.com
写真●芝修 文●永田トモ